

令和7年度 山口県中学校長会秋季研修大会開催要項

- | | | | |
|---|------|---|-----------------------------------|
| 1 | 期 | 日 | 令和7年10月10日(金) |
| 2 | 会 | 場 | 山口県下関市 菊川ふれあい会館(アブニール)、菊川支所 |
| 3 | 主 | 催 | 山口県中学校長会 |
| 4 | 共 | 催 | 山口県教育委員会 下関市教育委員会 |
| 5 | 主 | 管 | 下関市中学校長会 |
| 6 | 後 | 援 | 下関市(公財)日本教育公務員弘済会山口支部(公社)日本教育会 |
| 7 | 研究主題 | | 「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」 |

現代は将来の予測が困難な時代であり、その特徴である変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の頭文字から「VUCA」の時代とも言われている。これまで少子化・人口減少や高齢化、グローバル化や多極化、地球環境問題、子供の貧困、社会のつながりの希薄化などは、社会の課題として継続的に掲げられてきた。こうした中、新たな感染症の感染拡大の影響や国際情勢の不安定化は、正に予測困難な時代の象徴となった。このような社会を見据えた時、現時点で予測される社会の課題や変化に対応していく人材を育成するという視点と、予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという二つの視点が必要となる。とりわけ後者の視点から、「持続可能な社会の創り手」というめざすべき姿を実現することが求められている。つまり、今後めざすべき未来社会像は、持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せを実現できる、人間中心としての「Society5.0(超スマート社会)」である。これからの社会を展望した時、教育こそがその社会をけん引する駆動力の中核を担う営みであり、人間中心の社会を支えるシステムとなる時代が到来していると言える。将来の予測困難な時代において、一人ひとりが豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、教育の果たす役割はますます大きくなっていく。

令和3年度から全面実施された学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の理念の下、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することをめざして、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進の必要性が示されている。また、教育課程の改善をねらいとした一連のPDCAサイクルを確立すること、及び必要な人的・物的資源を含めた地域資源を効果的に組み合わせ活用を図る「カリキュラム・マネジメント」の推進も求められている。中央教育審議会の「令和の日本型教育の構築を目指して(答申)」では、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた中、子供たちの資質・能力を確実に育成するためには、学習指導要領を着実に実施していくことが重要であるとしている。その上で、2020年代を通じて実現を目指す学校教育を「令和の日本型学校教育」とし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」とを一体的に充実することを目指すとしている。

山口県教育委員会は、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」をコンセプトとした国の教育振興計画を参酌し、新たな「山口県教育振興基本計画」を策定した。この計画では、「未来を拓くたくましい『やまぐちっ子』の育成」という前計画の教育目標を継承するとともに、その目標達成のため「確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進」「新たな時代を創造する人材を育む教育の推進」「誰一人取り残されることのない教育の推進」「学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進」「生涯を通じた学びの充実」「豊かな学びを支える教育環境の充実」の6つの施策を柱とした取組が推進されている。

私たち校長は、このような国や県における教育施策の動向にアンテナを張りながら、組織のトップとして「今」の状況を冷静に捉え分析するとともに、常に「未来」に目を向け学び続ける頭脳集団として、学校並びに社会の有り様を見据え、確かな理念のもとに学校経営を行っていかねばならない。

中学校教育の現状を見ると、いじめの問題をはじめ、暴力行為、パソコンやスマートフォン等を利用した問題行動、規範意識や社会性の未成熟、学習意欲の低下など、様々な課題が指摘されている。これらの課題の解決を図るとともに、自殺の防止や不登校生徒への支援等に取り組み、子供たちの命や安心・安全を守るためにも、学校は、家庭や地域の教育力を生かしたり関係機関との連携を図ったりしながら「地域とともにある学校」を推進していくことが求められている。

山口県中学校長会は、学校における働き方改革を含めた新たな教育課題に対しても果敢に挑戦し、校長相互の資質向上と目的を明確にした研究を推進することにより、学校経営のさらなる充実と学校からの教育改革を進めていかねばならない。令和7年度より新たな研究主題として研修を深め、山口県らしい教育の具現化を図り本県の中学校教育の向上に資するとともに、広く県民の負託に応えることとする。

8 分科会・研究協議題及び会場

分 科 会		研 究 協 議 題	場 所	会 場
第1分科会	教育課程	「カリキュラム・マネジメント」の推進	アブニール	小ホール
第2分科会	学習指導	「主体的・対話的で深い学び」の実現	アブニール	中ホール
第3分科会	道德教育	よりよく生きようとする意思や能力を育む道德教育の充実	アブニール	研修室
第4分科会	健康教育	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実	アブニール	女性室
第5分科会	キャリア教育	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実	アブニール	レクチャールーム2
第6分科会	生徒指導	自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実	菊川総合支所	会議室2
第7分科会	現職教育	「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成	菊川総合支所	会議室3
第8分科会	学校経営	学校と地域の連携・協働による「チーム学校」と「働き方改革」の実現	菊川総合支所	多目的室

9 秋季研修大会日程

時 刻	内 容	会 場
9:10～9:30	受 付	エントランス
9:30～10:10	開会行事 1 開式の言葉 3 信条唱和 2 国歌斉唱 4 あいさつ 山口県中学校長会長 高 来 英 行 山口県教育委員会教育長 繁 吉 健 志 様 5 祝辞 下関市長 前田 晋太郎 様 6 来賓紹介 7 閉式の言葉	菊川ふれあい会館 (アブニール) アリーナ
10:10～10:30	(休 憩)	
10:30～12:00	講演:早稲田実業学校高等部 硬式野球部監督 和泉 実 氏 演題:「『甲子園で学んだこと』 ～生徒の心にかかにして火をつけるか～」	
12:00～12:05	諸連絡	
12:05～13:10	(昼 食・休 憩・分科会打合せ)	
13:10～14:30	分科会研究協議(第1分科会～第8分科会)	<各分科会会場> 菊川ふれあい会館 (アブニール) 菊川総合支所
14:30～14:45	(休 憩)	
14:45～16:00	分科会研究協議(第1分科会～第8分科会) ※分科会ごとに閉会行事	